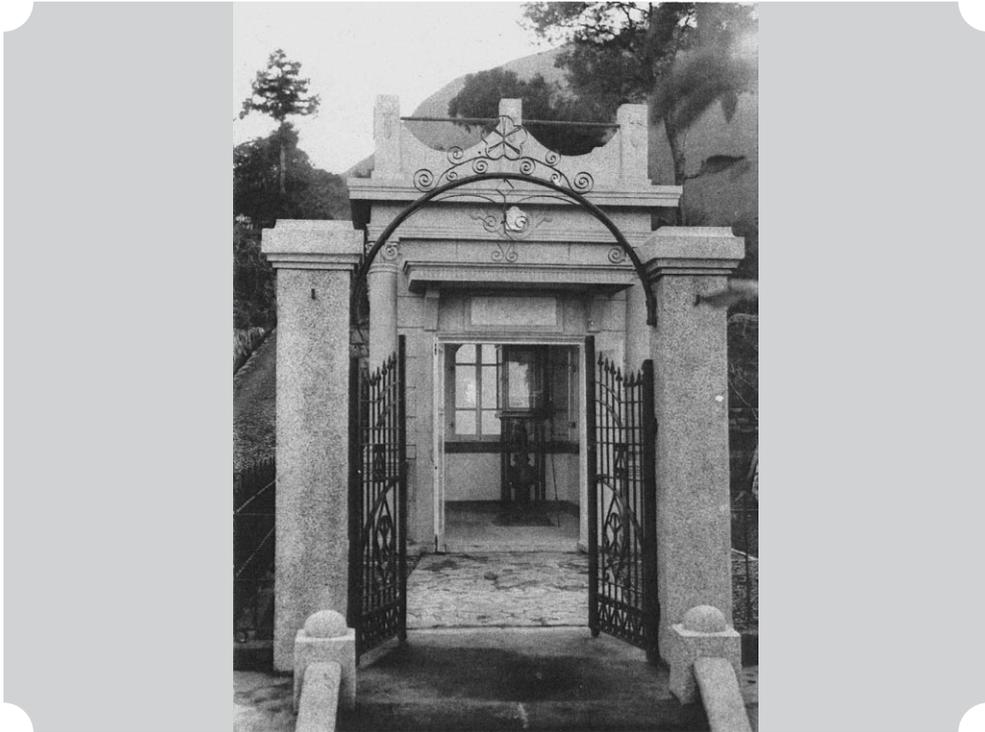


2017・2018

別府史談

第三十・三十一合併号



別府史談会

別府史談

第三十・三十一合併号

別府史談会

(表紙写真) — 朝見浄水場「量水室」

別府市朝見2丁目15番、朝見浄水場からやや離れた朝見神社駐車場の一角に朝見浄水場「量水室」がある。

「量水室」は、初代別府市長神澤又市郎によって昭和2年に建てられたものである。

建築意匠は、ギリシャ風の神殿を偲ばせる鉄筋コンクリート造りで、正面に量水室と刻まれており、その姿は小ぶりではあるが実に堂々としている。

建物は、正面1間、側面2間に見せる柱頭飾りを置く列柱を配し、アーチ形の窓枠を設けている。

平成9年9月3日、朝見浄水場量水室は、国登録有形文化財（建造物）に登録されている。

なお、朝見浄水場は、大正6年4月1日完成、通水供用開始、平成29年に100周年を迎えた。朝見浄水場の完成は全国で33番目、九州では、長崎・佐世保・北九州・佐賀に次ぐ5番目である。

[文責：外山 健一]